○議長（吉田敏郎）

皆さん、おはようございます。ただいまの出席議員は12名です。定足数に達しておりますので、これより令和元年開成町議会12月定例会議第2日目の会議を開きます。

午前9時00分 開議

○議長（吉田敏郎）

はじめに昨日の佐々木議員の一般質問において、町長より訂正がありますので、発言を許可します。

町長。

○町長（府川裕一）

おはようございます。昨日の佐々木議員の一般質問に対する、私の答弁内容について、担当課長より一部訂正をさせていただきましたが、改めて、私から発言の訂正をお願いいたします。

具体的には個別質問の2点目の「地域集会施設を除く指定管理施設におけるコスト面での導入効果は」の回答のうち、水辺スポーツ公園における指定管理導入前の3カ年の管理運営経費の説明で、使用料収入から維持管理経費を差し引くと申しあげましたが、正しくは維持管理経費から使用料収入を差し引く、でありますので、訂正をお願いいたします。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

日程第1 一般質問を行います。質問、答弁は簡潔にお願いをいたします。

1番、下山千津子議員、どうぞ。

○1番（下山千津子）

皆様、おはようございます。1番議員、下山千津子でございます。通告に従いまして、開成駅周辺地域の安全対策及び利便性の向上は、の質問をさせていただきます。本年3月16日から開成駅に急行電車が停車するようになりました。以降、8カ月余りが経過し、乗降客数は増加し続けております。

町長は、3期目の公約で、「南部地域は、県西地域の副次拠点として魅力ある取り組みをしていく」と述べられておりますが、そのために現在どのように対処しているのかが、また今後どのように取り組まれていくのかが見えません。

開成駅は、「急行が停まって大変便利になった。」という声がある一方で、「朝夕の通勤、通学の時間帯に送迎用の車の混雑が激しい。特に雨天時は交錯して危険だ。」という声を聞きます。

開成駅が急行停車駅になったことで、利便性が向上し、駅機能や駅周辺の都市機能の充実により、副次拠点となることが望まれますが、まずはそこに暮らす人々の安全・安心を最優先に考えた施策を講ずるべきと考えます。駅前通り線の早期開通が望まれますが、開成駅周辺地域の安全対策及び利便性の向上を喫緊の課題として対策を講ずるべきと考え、次の事項を伺います。

①通勤・通学時間帯における駅前ロータリーの安全対策は。

②駅周辺道路の交差点における安全対策は。

③新規バス路線導入の進捗状況は。

以上、壇上からの質問とさせていただきます。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

それでは、下山議員の御質問にお答えをいたします。

開成駅周辺地域、安全対策及び利便性の向上について、議員、御質問にある南部地域における県西地域の副次拠点としての取り組みについて。具体的には、次の四つのことを述べております。

一つ、開成駅西口ロータリーの再整備。

二つ、駅前通り線周辺地区土地区画整理事業の着実な推進。

三つ、開成駅前の交番の早期設置。

四つ、交通アクセスの充実。

どの取り組みについても、第五次開成町総合計画に位置づけをして、しっかりと取り組んでいるところであります。

特に開成駅西口ロータリーの再整備及び駅前通り線周辺地区土地区画整理事業については、町は実施主体として計画的に推進してまいります。しかし、開成駅前の交番の早期設置と交通アクセスの充実については、実施主体が警察や民間事業者であることなど課題がありますが、粘り強く要望を行っているところであります。

では一つ目の通勤・通学時間帯における駅前ロータリーの安全対策についてお答えをいたします。

本年3月16日、小田急線ダイヤ改正に伴い、開成駅に急行電車の停車が開始され、西口駅前ロータリーの交通量については、増加の傾向にあると感じております。

施設的などころでは、今年度、西口駅前ロータリー内の外側線やバス・タクシーの区画の消えかかった表示を再整備をいたしました。

町といたしましては、急行停車による乗降客等の増加に、駅前広場の交通結節機能を対応させるとともに、開成駅の利用に影響が見込まれる駅前通り線の整備など、南部地域におけるプロジェクトの方向性を踏まえ、開成駅を急行停車にふさわしい駅としていくため、西口駅前広場の再整備に取り組んでおります。

今年度の取り組みとしては、西口駅前広場の機能向上を検討するため、基礎データとして駅の乗降客数の把握、西口駅前ロータリーへの公共交通や一般車両の乗り入れ状況の把握、急行停車に伴う他の駅からの転換交通の状況把握などの調査を進めております。

また来年度は、駅の乗降客数の推計を行う予定であります。推計については、駅前通り線の整備など開成駅を中心として駅の利用が期待される範囲におけるプロジェクトを踏まえた西口駅前広場再整備の基本構想を定めて、推計を行う考えであり

ます。

現在、具体的な整備時期は未定ではありますが、今後の開成駅の乗降客数の動向や駅前通り線の整備等の進捗を踏まえ、西口駅前広場の再整備時期を考えてまいります。

二つ目の開成駅周辺道路の交差点における安全対策についてお答えをいたします。

朝の子どもたちの登校時間を中心に自治会やボランティアの方々に子どもたちの見守り活動を行っていただいていることについて、大変感謝しております。

交差点の関係では、地元自治会等から足柄紫水大橋西側に位置する開成駅南側交差点と開成南小学校西側交差点について、朝夕の通勤時間帯には自動車の交通量が多く、右折車両が信号の変わり目に右折するケースが多発し、危険な状況であるため、右折信号機の設置について御要望をいただいていることから、町では、神奈川県へ右折信号機の設置要望を行っているところであります。

また、駅周辺の町道等においても、自治会から危険箇所への安全対策について、要望をいただいていることから、交差点などへスピードの抑制を促すための看板の設置、カーブミラーの見直しなども行っております。

三つ目の御質問、新規バス路線導入の進捗状況についてお答えをいたします。開成町における公共交通の取り組みといたしましては、第五次開成町総合計画後期基本計画において、誰もが移動しやすい公共交通体系を構築するため、現行のバス路線の維持確保を図ることや近隣市町と連携による広域的なバス路線の整備、開成駅を拠点とする新たなバス路線の整備についてバス事業者への働きかけ、開成駅の利便性向上に向けた鉄道事業者への働きかけ等を推進をし、公共交通の利便性向上を図っていくとしております。

バス交通につきましては、公共交通機関の中でも中心的な役割を果たすことが期待される一方で、自家用車との競合が大きく、地域全体での利用者は減少傾向にあります。あわせてバス業界では運転手不足が深刻な課題となっており、本年10月1日には開成町内の路線を含む運行エリア全体を対象とした運行規模を縮小するためのダイヤ改正が実施されたところであります。

事業者からのヒアリングでは、運転手不足解消の目処は立っておらず、今後も状況次第では、同様の動きを取らざるを得ない可能性があるとのことでありました。しかし一方で、少子高齢化の進展を踏まえ、高齢者の移動手段の確保など、誰もが安全で円滑に移動できる環境を整え、快適に住み続けられるまちづくりを推進する上では、公共交通の充実を図ることが必要となります。そのためには過度のマイカー依存から公共交通への転換を促し、人や環境に優しい交通手段の利用を呼びかけることや、交通事業者が抱える課題解決に向けた支援策等を検討し、公共交通事業を維持できる環境の整備について広域連携の枠組みなどを活用して進めたいと考えております。

新規バス路線の導入につきましては、駅前通りの整備をはじめ、足柄紫水大橋西側から国道255号線までの延伸工事などのインフラ整備とともに開成駅の機能強

化やアクセスの向上に欠かせないものと認識をしております。しかしながら、新たなバス路線の形成は、開成町単独で成立するものではないため、広域連携による取り組みをはじめ、国や県、民間事業者などとの協議を重ねながら地域にふさわしい誰もが移動しやすい交通体系の構築に努めてまいります。

以上であります。よろしくお願いいたします。

○議長（吉田敏郎）

下山議員。

○1番（下山千津子）

一定の答弁をいただきましたので、再質問をさせていただきます。

町長は、6月定例会において、3期目に向けた所信表明をされました。その中で開成駅周辺のまちづくりについて、念願であった開成駅への急行停車が実現するなど好循環が生み出されている。この勢いを停滞することなく、元気な町、誇れる町を継続していくことが3期目の私に課せられた使命であると明言されました。

また、ただいまの答弁でも南部地域を県西地域の副次拠点とするために、既に総合計画に位置づけられている開成駅西口ロータリーの再整備をはじめとする四つの取り組みをしっかりとやっていると言われました、

しかし、実際はどうでしょう。急行停車以来、駅利用者の方や、周辺の方及び地権者の方からは、「何も変化がない」「何一つ動いていない」という厳しい声が聞こえてきます。

6月と9月の定例会議においても、同僚議員からこれらに関連した質問をされておりますが、回答は検討中であるとか、調査中である、考えていくといったのんびりとした答弁しかありませんでした。

昭和60年の開成駅の開業以来、町は人口も増え、家も増え、大きく変容いたしました。今では近隣市町に住んでいる友人たちからも、「開成町は明るく元気があって良いね」とよく言われて大変うれしく思っております。

しかし、町の発展の象徴ともいえる開成駅に、急行電車が停まるようになるまで34年もかかりましたし、長い間の努力がようやく成果として実を結んでおります。このことを強く受けとめて、スピード感をもって対応すべきと考えます。

確かに、駅前ロータリーの再整備や駅前通り線の整備には当然時間もお金もかかります。いつまでに何をするという目標に向かって、関係者や関係機関と必要な協議や調整を重ね、積極的に取り組まれば徐々にその姿が見えてくるはずです。

3月16日で急行が停車以来、乗降客数も1日1万2千700人ほどにまで増えており、駅前ロータリーには送迎用車両台数も目に見えて増え、刻々と状況が変化しております。まずは駅利用者と地域住民の安全・安心のための取り組みが喫緊の課題と考えます。その課題解決策について、どのように具体的に取り組まれるのかをお伺いいたします。よろしくお願いいたします。

○議長（吉田敏郎）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

お答えします。議員がおっしゃっているとおり、今、町がハード整備として取り組んでおります、駅前通り線または西口再整備ということについては、時間なり莫大な事業費というものが伴っております。こういった中で、町としては、計画的に進めているというところでございます。

ただ、現状、急行停車に伴いまして、交通量が増えているということについては認識をしております。この中で施設のなところについては、まずは消えかかった区画線等については、再整備をさせていただいたというところでございます。今後、施設のなところで、必要なところについては対処していくとともに、また、ソフト的な対策等も必要ということになれば、やはり交通安全の担当課であったり、警察等とも調整をしながら、必要な措置については考えていきたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

下山議員。

○1番（下山千津子）

御答弁の中に、駅前広場の交通結節機能を対応させるとともに、西口駅前広場の再整備に取り組んでいるとありましたが、具体的にどのような駅前の姿にされたいのかを伺います。

○議長（吉田敏郎）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

お答えします。西口駅前広場の再整備につきましては、やはり交通結節機能の強化、急行停車にふさわしい駅にしていくという考え方がございます。その方向性ということでは、やはり将来の動向、社会的なところを捉えた中で必要な機能を充実させていくということが非常に大事であるというふうに考えてございます。そういった部分では、一般交通であったり、公共交通そういった部分での交通分担の考え方、こちらについては、先ほど町長答弁もございましたけれども、路線バスの関係等も含めた中で考えていくと。その中で必要な区画だったり、その形状であったりということを経験しては考えていくと。

そして、駅周辺での土地利用の関係、やはり町としては近隣商業地域等の高度化を図っていきたいというような、町の賑わいという部分がございますので、そういったものの観点であったり、また、何よりも駅を利用される方の安全・安心という部分も含めた中で、そういった三つの観点を持った中で、方向性等を決めていきたいと考えております。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

下山議員。

○1番（下山千津子）

さまざまな方向性をお示しになりました。大変期待しておりますので、よろしくお願いいたします。

今年度の取り組みとして、西口駅前広場の機能向上するために、基礎データとして駅の乗降客数の把握とか、西口駅前ロータリーへの公共交通や、一般車両の乗り入れ状況の把握、急行停車に伴う他の駅からの転換交通の状況把握などの調査を進めると、答弁がございましたが、予算はどのくらい見込んで計上されておりますか、お伺いいたします。

○議長（吉田敏郎）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

お答えします。現在、西口再整備に向けた、基礎調査、業務委託については、既に発注をしております。ちょっと契約金額については、今確認をしまして、後ほどお答えをしたいと思います。

○議長（吉田敏郎）

下山議員。

○1番（下山千津子）

現在、発注をされているようですので安心しておりますが、私が予算書をどこを見ても計上が見つかりませんでしたので、お聞きいたしました。

次に、来年度に駅前広場再整備の基本構想を定めて、と答弁がございましたが、再整備時期はいつごろで、具体的なイメージですが、例えば、小田急沿線のこの駅のようにしたいとか、そういった参考にしたい駅などは、もうございますでしょうか、お聞きいたします。

○議長（吉田敏郎）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

お答えします。現在、西口再整備に向けた基礎的な調査というのは進めているところでございます。また、それにあわせて開成駅をどのような方向性に持っていくのか、どのような機能が必要かということについても、そういった基礎調査のことについては分析をしているというところでございまして、具体的に、小田急沿線等の中で、どの駅をイメージしているかということについては、特にはございません。あくまでも今現状の中で、開成駅がどのような方向性かということについて考えていきたいというふうに思っています。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

下山議員。

○1番（下山千津子）

そうしますと、イメージがないようでございますので、こういった駅にしたいと

かという構想がありませんと、全てコンサルなどの委託業者にお任せになってしまうというような傾向が見受けられるのでございますが、9月にも言わせていただきましたが、駅前が開成町の玄関口でございますし、開成町の顔として私も考えてございます。全てに開成町らしさを盛り込んだ内容にさせていただきたいと考えますが、いかがでございましょうか。

○議長（吉田敏郎）

副町長。

○副町長（加藤一男）

小田急のどのような駅を参考にするかということでございますけれども、御存知のとおり、小田急は、新宿から箱根湯本まで通過してございます。その中には、本当の都心の部分と、やはり県央部のすばらしいところ、また、開成町は県西地区の、山はありませんけれども周りの山の景色とか、富士山も見えるし、非常に私にとっては過ごしやすい場所だと思っております。

駅の横に、今、足柄紫水大橋というのがあるのですが、あの名称は、山紫水明と言いますか、その中の紫水をとった名称でございまして。そういったことにふさわしい駅にしていきたいと。

また、今、駅を見ますと、かなり上のほうの部分、空間の部分があいいますので、そういったことも生かしながら、交通結節の拠点にしていきたいと、そのように考えております。

○議長（吉田敏郎）

下山議員。

○1番（下山千津子）

今、副町長の御答弁にありましたが、何かわくわくするような期待感が持てるような気がいたします。ぜひ、そのような感じで、開成駅に対しても、すばらしい駅前広場をつくっていただけたら、ありがたいと思います。

それでは、続きまして、2項目めの開成駅周辺道路の交差点における安全対策は、について御質問をいたします。

6月定例会議での同僚議員の開成駅南側交差点と、開成南小学校西側交差点への矢印式信号機の設置に係る質疑において、松田警察署をはじめ、町村会や政党要望に設置要望として掲げ、要望活動していると言われました。そして、その要望に対する県などからの回答では、現段階では、右折信号の設置は難しく、今後右折需要が高まる場合に検討するという旨の町長答弁がされております。

私もその後で、改めて朝夕の現場を見に行くとともに、実際、子どもたちの見守り活動をされている方から聞き取りもさせていただいております。通学のピーク時における横断では、待機場所に子どもたちがあふれ、青信号になると大勢が横断歩道を渡らなければならないので、交差点が車、自転車、歩行者で錯綜しておりました。さらにその青信号の間に右折する車が数台待機しておりました。歩行者用の信号機が点滅状態になってから、やっと車両の右折がはじまり、赤信号に切り替わっ

でも1、2台右折する車がございました。つまり信号無視の状態でご右折しており、大変危険だと実感いたしました。

そのような状況が常態化しているわけでございます。ドライバーも子どもたちに気を配りながら、対向車線から左折してくる車に注意するわけで、瞬時の判断が求められます。いつ重大な事故が起きても不思議ではございません。それと毎朝と夕方、この交差点で見守り誘導をされている方がいられます。朝は登校時の7時半から8時15分まで、同僚でございますが、黄色のベストと旗を使って、子どもたちに行ってらっしゃいと言葉をかけておりました。交通量が多くて、体を張った命がけのボランティア活動をしていただけることに頭が下がりました。

また、夕方の下校時にもやはり別の方が誘導と見守りをされておりました。本当に交通量の多いところで、大変なボランティア活動されてるなということで、この方に対しても大変感謝の気持ちが湧き上がりました。

ところで、このような危険な交差点でどのくらい交通事故が発生しているのか、お伺いいたします。

○議長（吉田敏郎）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（橋本健一郎）

御質問にお答えしたいと思います。先ほど二つの交差点の話をされました。一つ目が、開成駅南側の交差点でございます。ガソリンスタンドがある部分でございます。そちらにつきましては、昨年、警察の統計ですと1月から12月の、年というところの統計となっております。こちらのまずはガソリンスタンドがある部分の交差点でございますが、こちらについては、平成30年中、昨年については、人身事故に係るものは発生はしてございません。今年の上半期分でございますが、そちらを確認した中では2件の交通事故があったということでございます。

もう一つの開成南小学校西側の交差点につきましては、こちらは昨年、2件の人身事故というところの交通事故が発生してございまして、今年の上半期分については、事故は発生していない状況でございます。

○議長（吉田敏郎）

下山議員。

○1番（下山千津子）

今の課長の御答弁を聞いても、事故は発生してございますので、結構注意していても、ドライバーが注意をしても事故が起きていますから、開成町の危険箇所の一つと言えるような気がいたします。

開成南小学校西側の交差点の状況も同じような感じで事故が起こっておりますので、児童が横断する際に、自転車と接触する事故が起きたということでございますが、いずれの交差点も、道路の幅が広く、歩行者が渡るのに時間がかかりますから、どうしても事故の発生率が高くなってしまふことが分かります。

青信号から赤信号に変わる時間のサイクルを変えるということではできないのでし

ようか、お伺いします。

○議長（吉田敏郎）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（橋本健一郎）

お答えしたいと思います。以前、そういう形で、信号の時間調整ということも念頭に入れた中で要望していた部分もございました。

現在におきましては、右折信号、こちらについて2カ所の交差点に設置をお願いしたいということで、毎年要望をさせていただいているところでございます。

○議長（吉田敏郎）

下山議員。

○1番（下山千津子）

要望を行っているということでございます。ぜひ今後とも、そういった要望を引き続きお願いしたいと思います。

それでは開成駅南側の交差点の信号機に関わる時間、つまりサイクルについて、専門的な方に伺ったところ、ここの交差点は設置された当初、南北方向、山北から小田原でございますが、その車両台数が多かったから、長くとってあると言われました。現在は東西方向、南足柄から紫水大橋を渡る大井町の車両台数が増えているから、サイクルをもっと長くするするようなことは、変えられないことはないというようなお話をされておりました。

また、この部分は危険箇所でございますので、パレットガーデン自治会の要望でも出されているそうでございます。

私も自治会要望を拝見させていただきましたが、やはりなかなか細かい部分で、そういった警察からのお答えでございましたので、それを町が受け取りまして、かなり難しいかなというふうな感じはございましたが。子どもの命を預かるということでは、大変交差点が交通量の多い場所でございますので、引き続き、こういったボランティアの方たちに御協力をいただかなければ、子どもの安全が見守れないのかなというふうに感じてございます。

もう一度お聞きしたいのですけれども、南の、開成駅のところの矢印式信号の設置が難しい、難しいと、言われておるのですが、何より通学する子どもたちを守らなければなりませんので、こう要望をして、こういう回答でしたというのは、やはり親身に欠けているような気が私はしております。

町長は、よく人脈がある、8年間のネットワークにあると言われておりますので、そちらのコネクションは使えないのでございますか。あるいはどのような形でプッシュしていただけるのかをお伺いいたします。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

下山議員が、まず、右折信号のあり方について、ほかの提案もされていきますけれ

ども、基本的にまず、町の権限があれば、それをいろいろ試すということもできないことはないのですけれども、やはり神奈川県の中でも、特に警察関係の規制の中で、我々は県に対して、県警に対して今、お願いをしています。牛島の信号のときも、設置していただくのに4年かかりました。それはさまざま、県議員の皆さん、国会議員の皆さん、また、直接県への要望、事故があるたびに、県警本部に行って、お願いをしてきたという経緯もあります。とにかく粘り強く、実現するまでお願いをしていく。

今年度特にまた、横断歩道ほか、路面標示、多分10年分ぐらい一遍に、50カ所ぐらい今年度はやっていただきました。これも今までそういうことをお願いしてきた結果だと思います。今年結果、来年結果を出すという、なかなかそういうふうなことはいきませんが、やはり本道の右折の信号をきちんと2カ所つけてもらう形は、これからも粘り強く、あらゆるつてを使って、そういうことはやっていきたい。とにかく実現するまでは、やっていく。諦めることなく、継続して、きちんとお願いをしていくという姿勢で、これからもやっていきたいと思っています。

○議長（吉田敏郎）

下山議員。

○1番（下山千津子）

町長が、粘り強く、かなうまで頑張ってお願いをした結果が、今年度50カ所も道路がきれいになったというようなお話でございました。

先ほど牛島の信号機に関わる設置状況も、町長が御答弁いただきましたが、私も牛島の信号機がつく経緯をちょっと聞きましたので、御報告というか、御案内をさせていただきたいと思います。

設置に関わる要望を出すだけではなく、足で稼ぐ行動が必要だと思いますので、実際4年かかった牛島の交差点の信号機に関しては、当時の自治会長が、中央道路の開通時は、警察が信号機は必要ないと言われたそうでございますが、事故が発生したりして、牛島地域や宮台地域の住民が、中央道路を渡るのに非常に危険であるのと、牛島と宮台の自治会長が先頭になって、700枚の信号機設置依頼の署名運動を展開し、松田警察署に持参したり、所長に何回か現場に足を運んでいただき、危険だということを説明されたと伺いました。もちろん町長も同席されたと聞いております。町にこのように良い事例がありますので、車両の運行台数は日に日に増えております、この開成駅周辺の道路事情でございますので、先ほど町長は粘り強くかなうまでお願いし続けるというような力強いお言葉もいただきましたが、どうぞ死亡事故が起きてからでは遅いのでございますので、さらなる積極的な取り組みを要望いたします。ぜひよろしくお願いをしたいと思います。

では3項目めの質問をさせていただきます。新規バス路線導入の進捗状況は、ということでございます。

現在、開成町における公共交通の取り組みについては、第五次開成町総合計画において、誰もが移動しやすい公共交通体制を構築するため、現行のバス路線の維持・

確保を図ることとか、近隣市長との連携による公益的なバス路線の整備、開成駅を拠点とする新たなバス路線の整備について、バス事業者への働きかけ、そういうことを行っていくとされております。

そういう中で、この新規バス路線に対して、冒頭申しあげたように、急行電車が停まるようになるまで34年もかかっておりますので、開成町はおかげさまで巡回バスも2台体制で走っておりますが、年々高齢化が進み、免許証を返納される方も増えることが想像できます。運転手不足や課題もあるようでございますが、このタイミングで新たなバス路線が整備されれば、さらに開成駅の乗降客数の増加が見込まれます。また、そうなれば駅前にも飲食店や物販店も進出してくるでしょうし、郵便局も立地されるような気がいたします。大きく駅前の様相が変わり、活性化も進むと考えます。そういう中で、バス事業者との協議や調整は行われているのですか、お聞きいたします。

○議長（吉田敏郎）

企画政策課長。

○企画政策課長（岩本浩二）

御質問にお答えします。バス事業者との協議ということでございますけれども、一定の機会を捉えて、年に1回、ないし2回程度の調整はしてございます。

○議長（吉田敏郎）

下山議員。

○1番（下山千津子）

年1回か、2回ぐらい行っておるということですが、具体的にその内容をお示しいただけますか。

○議長（吉田敏郎）

企画政策課長。

○企画政策課長（岩本浩二）

基本的に、次の展開というような話は、我々の要望としては、事業者のほうにお伝えはさせていただいておりますけれども、町長の答弁でも申しあげたとおり、さまざまなバス事業者のほうの分野での課題等も一方で抱えられているというような状況もございます。これからどういう公共交通の形を、開成町を拠点としてつくっていくのか。また、人材不足みたいなところの課題解決に向けて、どういう動きを町事業者が協力して進めていけば良いのか。そういうことを意見交換をしているというような状況でございます。

○議長（吉田敏郎）

下山議員。

○1番（下山千津子）

理解いたしました。

また、町長にお尋ねいたしますが、月1回の首長会議も開催されておるようございますが、そのような機会に、町長自らリードされ、この点について、バス路線

についてでございますが、協議されるよう期待いたしますが、いかがでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

月1回の町長会議というのは、よく分からないですけども、上郡町村会とか、2市8町の整備協とかは、毎月ではありませんけれども。そういう時の話ですか。

やはりなかなか、開成町に急行が停まった、かといって、それですぐバス路線が誘致できるかという、なかなか路線は次の先がありますので、そういうところにおいては、今、足柄紫水大橋の関係で、255号まで、今、延伸工事が確定しておりますので、そういうところのときに、今度は、開成から紫水大橋を渡って新松田に行くルートとか、そういうのはお願いはできると思います。また、その時期というのは、確かにさまざまときによって、出てくると思います。さらに各町それぞれ、山北町さんもそうですし、中井デマンドバスとか、それぞれの単独の中でやっている部分がありますので、広域の中では、それはもう少しほかの町まで、それぞれがつながるようにできれば、それぞれ町の利用者も乗りやすいのかなというのはありますので、そういう意味では、広域の中で、そのような話はこれからもしていきたいなと思っています。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

下山議員。

○1番（下山千津子）

町長がそういうふうに首長会議で言葉を出されて、リーダーシップをお取りになって、開成駅にバス路線が導入できるように大いに期待して、私の質問を終わらせていただきます。

○議長（吉田敏郎）

下山議員、ちょっとお待ちください。

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

先ほど、西口再整備での業務委託料についての御質問でお答えできませんで、失礼いたしました。

予算といたしましては、7款土木費の中の開成駅周辺再整備事業費の中の委託料に計上してございます。今年度の契約金額につきましては、税込みで398万2千円、以上でございます。

○議長（吉田敏郎）

下山議員、よろしいですか。

○1番（下山千津子）

お調べいただき、ありがとうございます。

以上で終わりにいたします。

○議長（吉田敏郎）

これで、下山議員の一般質問を終了といたします。